

平成26年5月9日

各 位

会 社 名 日本トランスシティ株式会社
代表者名 取締役社長 小 川 謙
(コード番号 9310 東証・名証第1部)
問合せ先 取締役総務部長 安 藤 仁
(TEL 059-353-5212)

新 中 期 経 営 計 画 の 概 要

(平成26年度～平成28年度)

当社グループの平成26年度(平成27年3月期)を初年度とする新中期経営計画(平成26年4月～平成29年3月)の概要について、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. スローガン

『「Challenge to the New Stage」－挑戦－』

2. 基本方針

新しい価値を創造する企業に生まれ変わり、スピード感のある革新的ソリューションで、国内外のロジスティクス事業を拡充する

数値目標 : 連結売上高 1,000 億円以上、連結経常利益 50 億円以上

投資計画 : 投資総額 200 億円

期間中の投資は、計画的かつ積極的に行う

3. 経営戦略

(1) 国内ロジスティクス事業の改革

- ①ソリューション型営業機能を拡充し、3PL案件への対応力を強化する
- ②包括的業務提携を視野に入れ、ロジスティクス機能を強化する
- ③物流拠点の再編・拡充を推進する
- ④四日市港における港湾運営機能を強化する

(2) グローバルロジスティクス事業の拡充

- ①ASEAN域内におけるロジスティクス機能を重点的に強化する
- ②北中米域内におけるロジスティクス機能の再編成を行う
- ③人事制度および労務管理体制を充実する

(3) グループ経営基盤の強化

- ①お客さまに安心、信頼を提供できるよう安全管理・物流品質の水準を向上する
- ②人材の確保・育成・有効活用をグループの重要課題と位置づけ、最適な組織体制および人事諸制度を再構築する
- ③労務管理体制を再整備し、さらに競争力を強化する
- ④サービスレベルを高めるために、IT基盤を強化する

(4) CSR経営を重視し、地域社会の発展に貢献する

- ①グループとして一体化した高い倫理観を醸成するため、予防的コンプライアンスを充実する
- ②内部統制機能をさらに充実し、適正で高品質なサービスを提供する
- ③事業継続マネジメント（BCM）を確立することにより、リスクおよび事業への影響を極小化する
- ④環境経営を積極的に推進し、循環型社会の形成に貢献する

以 上